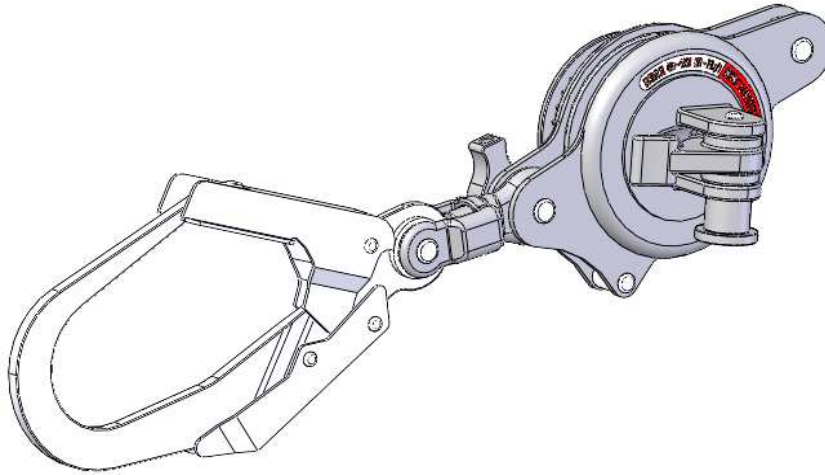


被覆ワイヤー用緊張機



取扱説明書






このたびは、被覆ワイヤー用緊張機をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使い頂くために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

この取扱説明書には、製品の操作、保守・点検、故障の見分け方が書かれております。
安全に作業を行って頂くための重要な内容が記載してありますので、貴社の作業標準等と併用して、作業範囲に適した安全な状態で作業にご使用下さい。

お読みになった後は、この取扱説明書を大切に保管して下さい。




この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の3段階に区分しています。

 危険	取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起これ得て、死亡または重傷を受ける可能性が高いと想定される場合を示します。
 警告	取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起これ得て、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合を示します。
 注意	取り扱いを誤った場合、危険な状態が起これ得て、傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び物質損害のみの発生が想定される場合を示します。

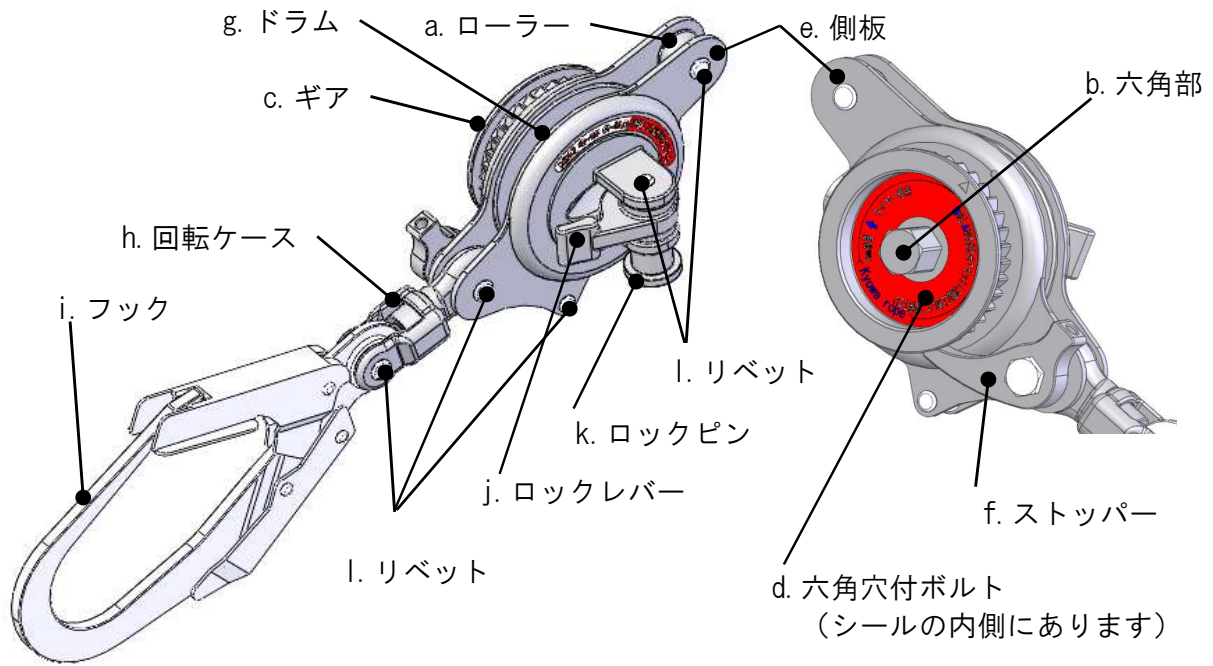
i 目次

1.	安全上のご注意	_____	1
2.	各部の名称	_____	2
3.	仕様	_____	2
4.	取扱い方法	_____	2 ~ 4
5.	保守・点検	_____	5 ~ 6
6.	廃棄について	_____	6

1. 安全上のご注意

 危険	<ul style="list-style-type: none"> ● 親綱には使用出来ません。 ● 使用目的以外の用途で 사용하지 않습니다. ☞ 製品の動作異常、変形及び破損から事故や故障の原因となる恐れがあります。
 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 被覆が破れている損傷劣化した被覆ワイヤーや適用以外の被覆ワイヤーは 사용하지 않습니다. ☞ 適用外の被覆ワイヤーを使用すると、重大な事故につながる恐れがあります。 ● 設置基準を守ってください. ☞ 設置基準を満たしていないと製品の動作異常、変形及び破損から事故や故障の原因となる恐れがあります。 ● 落下や衝撃を受けた製品は 사용하지 않습니다. ☞ 製品の動作異常、変形及び破損から重大な事故につながる恐れがあります。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品の使用限度は、製造年月から10年とし、やむを得ずご使用中に10年を超えるときは、使用限度期間を3ヶ月追加した、猶予期間といたします。但し、使用限度を過ぎた製品は、機能、性能や安全性を維持する保証ができませんので、修理の受付はお断りいたします。 ☞ 整備不良等保守管理の不徹底から事故につながる恐れがあります。必ず、定期的に点検を実施して下さい。 (5 2点検方法参照) ● 製品を分解・改造しないで下さい。 ☞ 製品の動作異常、変形及び破損から事故や故障の原因となる恐れがあります。 ● 製品の外観や動作に異常が認められた場合はご使用を中止して、直ちにメーカーまでご連絡下さい。 ☞ 製品の故障から事故の原因となる恐れがあります。 ● 製品を設置する際は、十分な強度のある部材に設置して下さい。また、周囲に十分注意して作業を行って下さい。 ☞ 強度不足及び、安全対策がとれない場合は事故の原因となる恐れがあります。 ● 製品を投下したり、引きずったりしないで下さい。 ☞ 故障の原因となる恐れがあります。 ● 製品が濡れたときは十分に乾燥させて、湿気・ホコリ・砂等の多い場所を避けて保管して下さい。 ☞ 製品の動作異常や劣化から事故や故障の原因となる恐れがあります。 ● 製品の日常点検を行って下さい。また、点検時に基準を満たさないものはご使用しないで下さい。 ☞ 製品の動作異常や劣化から事故や故障の原因となる恐れがあります。

2. 各部の名称



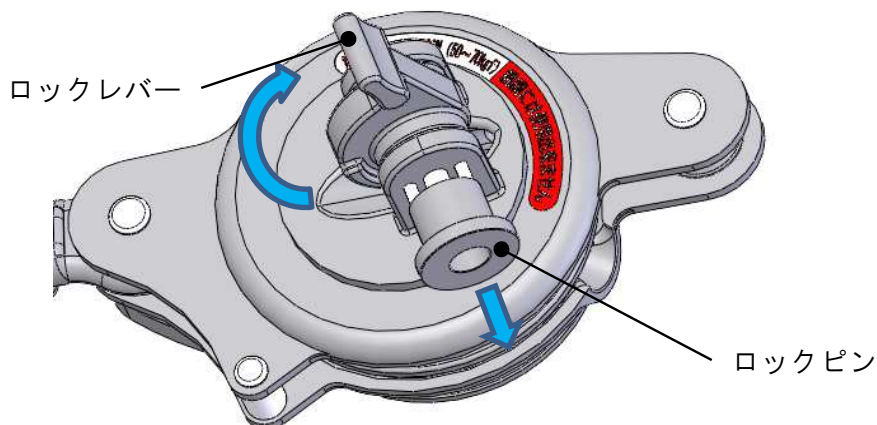
3. 仕様

用 途	被覆ワイヤー用緊張機 (安全ネットの養生、メッセンジャーワイヤー、囲い用など)
適用ワイヤー ロープ径	φ9mm×φ11mm 6×24 PVC被覆厚 1mm (不透明被覆は使用しないで下さい)
操 作 工 具	ラチェットレンチ (対辺17mm使用)
使用最大スパン	15m以下
設 置 荷 重	490N～686N (50kgf～70kgf)

4. 取扱い方法

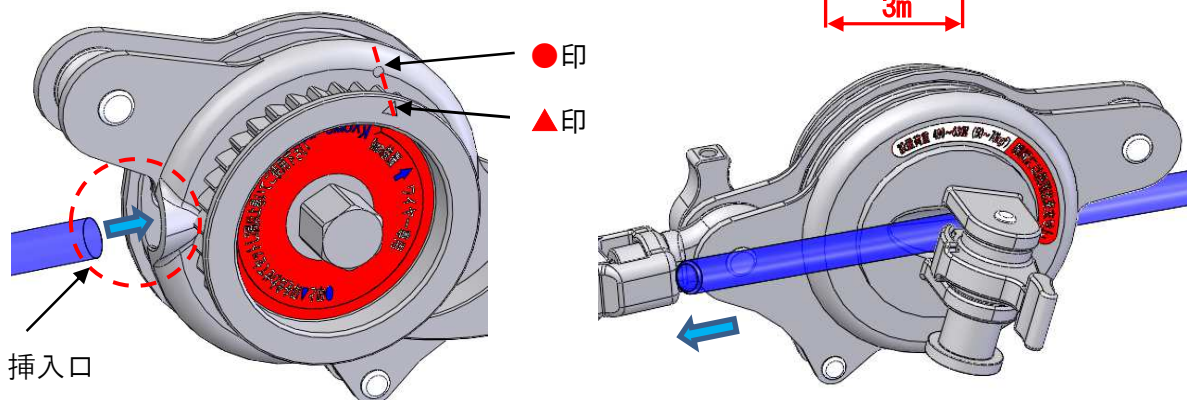
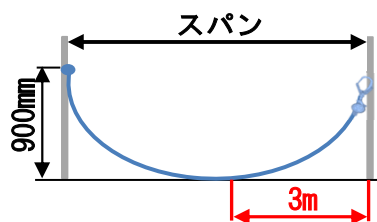
4. 1 取り付け (被覆ワイヤーの巻き取り)

- ① ロックピンを引き上げながら、ロックレバーを引き起こしアンロックにします。



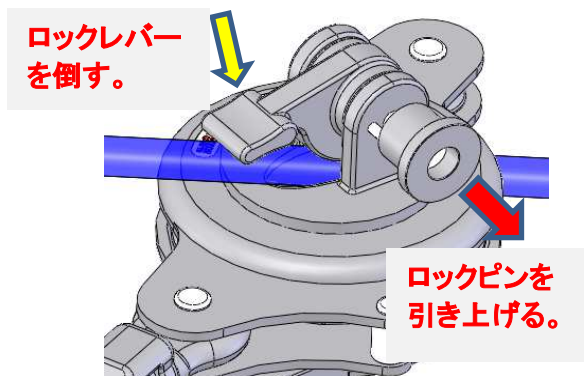
② ○印と△印を合わせて、ドラム挿入口から被覆ワイヤーを差し込みます。

※ 巻代に対してのたるみは、右図を目安に3mで調整して下さい。



③ ロックピンを引き上げ、ロックレバーを倒して被覆ワイヤーを固定します。

※ ロックピンが下がりロックレバーが動かないことを確認して下さい。

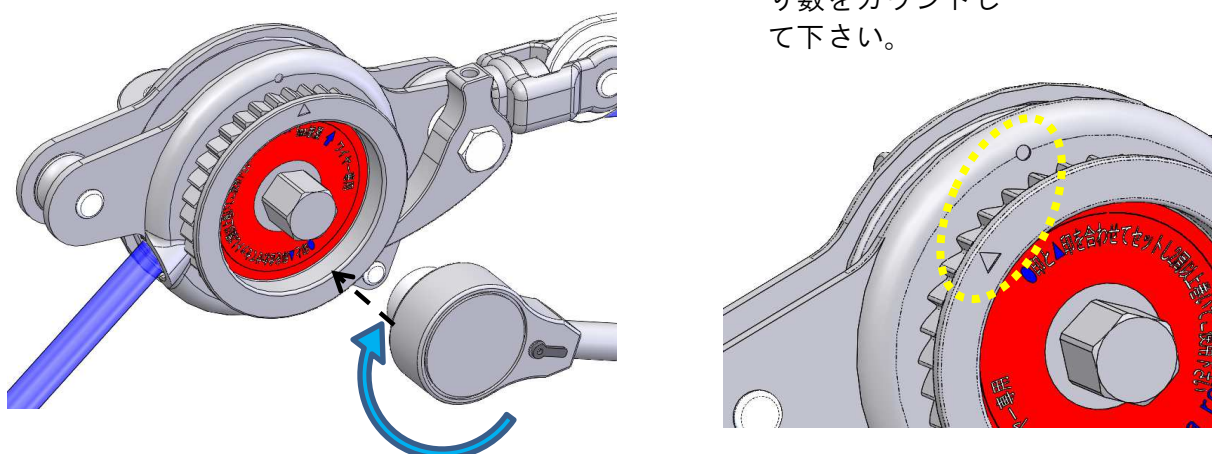


	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仮止め状態ですので、この状態で使用出来ません。 ● ロックピンが下がり、ロックレバーが固定されていることを確認して下さい。
	<p> ロックが不十分の場合、巻き取り時に被覆ワイヤーが滑る恐れがあります。</p>

④ ラチェットレンチ（対辺17mm）を六角部に取り付けて、時計回りにドラムを回転させ被覆ワイヤーを巻き取ります。

必ず、2回転巻き取ったことを確認して下さい。


○印と△印で巻き取り数をカウントして下さい。

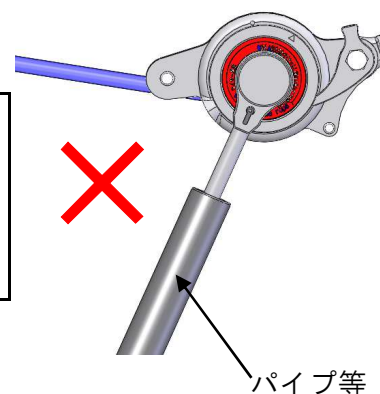


	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ラチェットレンチなどの使用する工具は、落下防止対策を講じてご使用下さい。 ● 巻き取りの際は、指先が巻き込まれないよう注意して下さい。 ● 2回転する前に張力が強くなり、巻き取りが困難な場合は、巻き取り代が足りませんので、手順②に戻って長さ調整して下さい。
--	---

⑤ 必要に応じて増し締めをして張力を確認して下さい。


※ 2.5回転以上は巻き取れません。

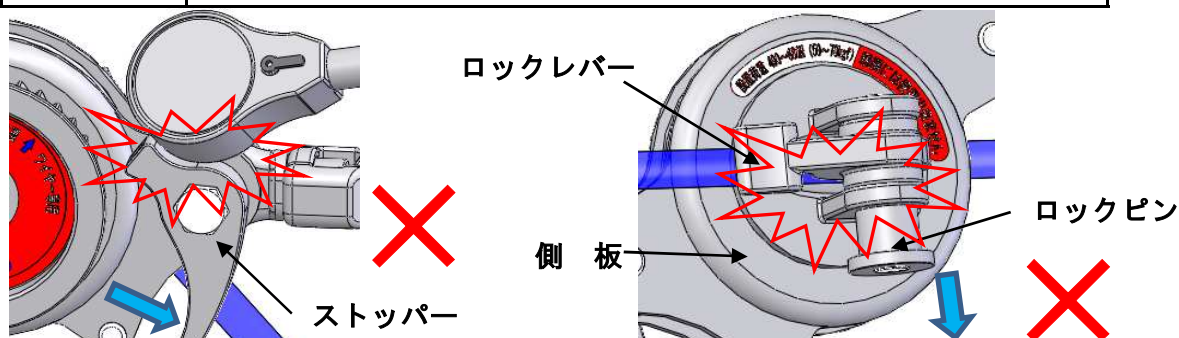
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● ラチェットレンチにパイプ等を継ぎ足して増し締めをしないで下さい。 ☞ 製品の動作異常、変形及び破損から事故や故障の原因となる恐れがあります。
---	---



⑥ ラチェットレンチを取り外します。

被覆ワイヤーが絡まないように丸めるなどの養生をします。

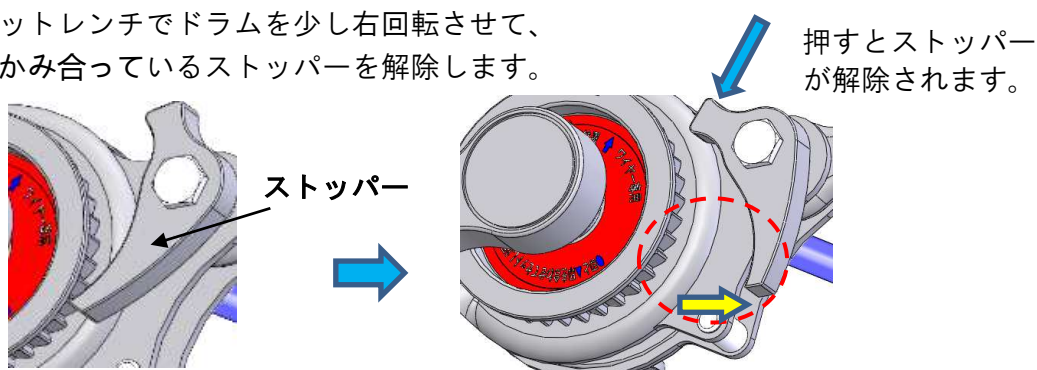
 危険	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊張時は、ストッパーをあてないで下さい。また、ロックレバー及びロックピンを操作しないで下さい。 ☞ ストッパーとギヤのかみ合いが外れ、瞬時に張力が解放されることにより、重大事故につながる恐れがあります。 ☞ ドラムの逆回転防止が解除され、張力が瞬時に解放されることから重大事故につながる恐れがあります。
---	---




※本体及び各部品に殴打及び、衝撃を加えないで下さい。

4. 2取り外し (張力の解放)

① ラチェットレンチでドラムを少し右回転させて、ギヤにかみ合っているストッパーを解除します。



 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● ストッパーを解除すると、ドラムが逆回転しますので、ラチェットレンチを逆回転に合わせて保持し、ゆっくりと緩めて解放して下さい。 ☞ 逆回転の反力により工具を落下させたり、ケガや事故につながるおそれがあります。 ☞ 指が巻き込まれるおそれがありますので、ドラムを必ずラチェットレンチで操作して下さい。 ※ ロックレバーを解除する際は必ず、被覆ワイヤーの張力を開放してから行ってください。荷重がかかった状態で無理にロックレバーを解除操作すると、故障の原因になります。
---	--


② 張力を完全に解放してから、ロックレバーを解除し、被覆ワイヤーを外します。

5. 保守・点検

5. 1保管

本製品の保管環境は下記に示すような場所とし、落下する恐れがないよう保管して下さい。

- ・ゴミ、チリの積もらない場所
- ・直射日光の射し込まない場所
- ・結露しない場所
- ・常温に近い場所
- ・水のかからない場所

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● ご使用前に動作点検を実施して下さい。 ● 悪環境（風雨、海辺など）でのご使用後は、各部の汚れを洗油灯油等を染込ませた布で拭き取って下さい。 ● 湿気、ホコリ、砂等の多い場所、または直射日光の当たる場所での保管はなるべく避けて下さい。 ● 高所から落としたり、運搬時に引きずったり、放り投げたりしないで下さい。 ☞ 各部、様々な故障の原因となります。 ● 雨天時のご使用は、できる限り避けて下さい。雨天時使用した場合、保管前に十分水分を拭き取り乾燥させて下さい。 ☞ 水分がストッパー内部に侵入すると、動作不良から事故や故障につながる可能性があります。
---	---



5. 2点検方法

点検は定期的に必ず行って下さい。**（※ご使用前点検励行を推奨致します。）**

異常を早期発見して安全な状態で作業できるよう心がけて下さい。

（点検箇所は、2. 各部の名称を参照して下さい）

No.	点 検 箇 所	点 検 内 容	点 検 方 法	異常時の処置
a.	ローラー	変形、損傷、摩耗、動作異常がないか	目視、手で操作	廃棄
b.	六角部	変形、損傷、摩耗、動作異常がないか	目視、手で操作	廃棄
c.	ギア	摩耗、損傷、動作異常、錆がないか	目視、手で操作	廃棄
d.	六角穴付ボルト	ゆるみ、変形、損傷がないか	目視	メーカー点検
e.	側板	変形、損傷、亀裂がないか 挿入口に変形、損傷、キズがないか	目視	廃棄
f.	ストッパー	摩耗、損傷がないか ギアとの噛合いに異常がないか	目視、手で操作	廃棄
g.	ドラム	変形、損傷、動作異常がないか	目視、手で操作	廃棄
h.	回転ケース	変形、損傷、亀裂、動作異常がないか	目視、手で操作	廃棄
i.	フック	変形、損傷、亀裂、動作異常がないか	目視、手で操作	メーカー点検
j.	ロックレバー	変形、損傷、動作異常がないか	目視、手で操作	メーカー点検
k.	ロックピン	変形、損傷、動作異常がないか	目視、手で操作	メーカー点検
l.	リベット	変形、損傷、ガタつきがないか	目視、手で操作	メーカー点検

 注意	<p>上記の点検項目において異常が発見された場合は必ずメーカー点検を受けて下さい。</p> <p>※ メーカー以外での分解、部品交換は絶対にしないで下さい。 点検中、または作業中に異常が発見された場合は、直ちに購入された販売店もしくは、メーカーへ点検をご依頼して下さい。</p> <p> 様々な事故につながる可能性があります。</p>
--	--

6. 廃棄について

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物（燃えないゴミ）となります。
廃棄方法については、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄して下さい。

本製品は日本国内向けであり、製品仕様・取扱説明書等、海外の規格には準拠していませんのでご注意ください。

この取扱説明書の内容につきましてご不明の点がございましたら、下記にご相談下さい。



住宅安全機器開発

株式会社 イング

<http://www.ing-n.com>

- 本 社 〒574-0045 大阪府大東市太子田3丁目4番31号
TEL (072) 875-7331 FAX (072) 875-7333
- 東京営業所 〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目7番11号アクセス五反田801
TEL (03) 5496-1491 FAX (03) 5496-4877
- 九州営業所 〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2丁目14番17号
TEL (092) 502-2232 FAX (092) 584-2022